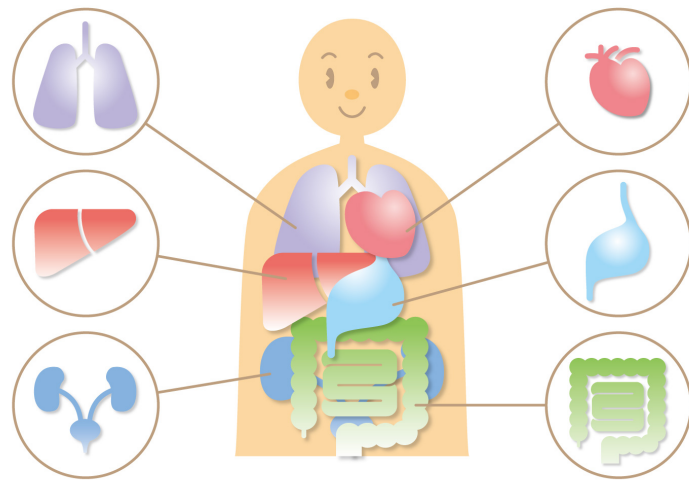


# 内臓と臓腑

- ・解剖学的にはほぼ同じ
- ・機能や考え方が違う

現代医学(内臓)	東洋医学(臓腑)
心臓、肺、胃、肝臓、胆嚢、大腸、小腸、腎臓、膀胱、卵巣、精巣、子宮…	肝、胆、心、小腸、脾、胃、肺、大腸、腎、膀胱、心包、三焦、奇恒の腑(脳、骨、髄、血脈、女子胞)…



# 臓腑

臓・・・気が充満

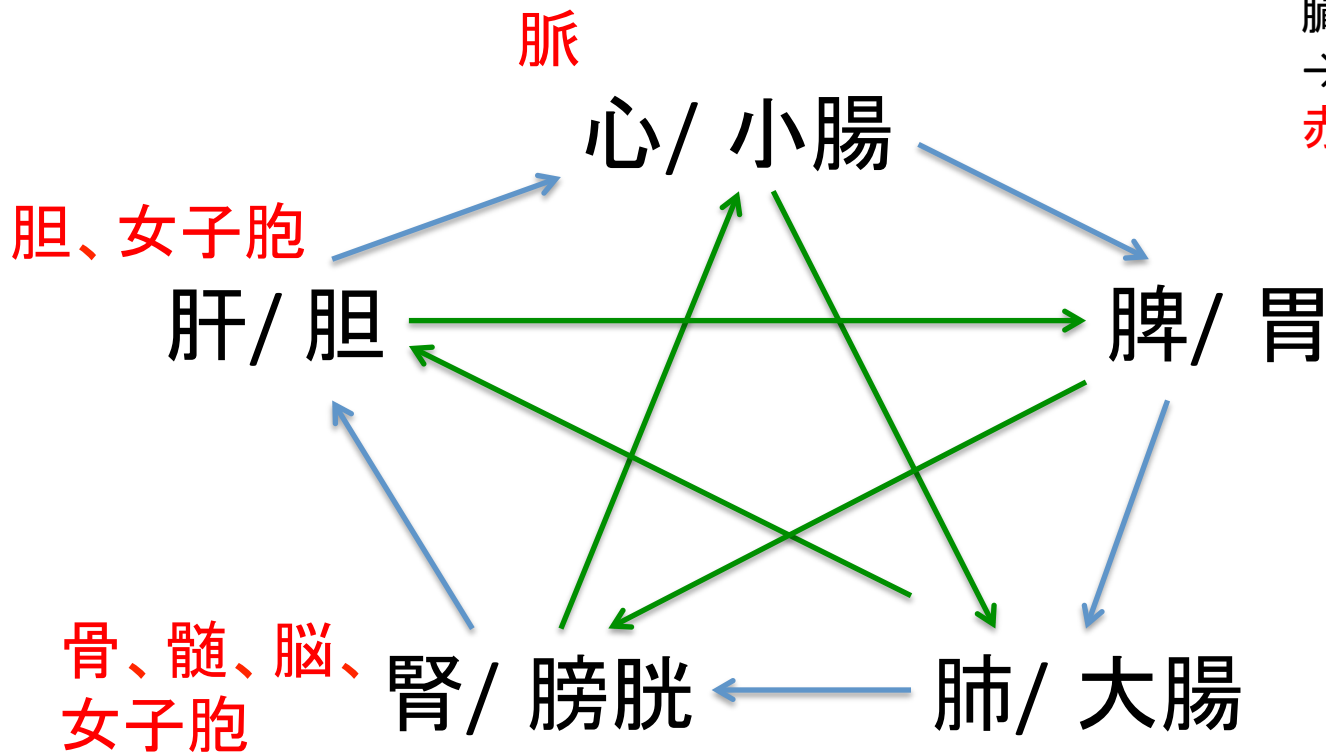
カラダの活動、組織、器官、腑の活動を管理  
五臓(肝・心・脾・肺・腎)

腑・・・中は空洞

飲食物の消化、吸収、排出を担当  
六腑(胆・小腸・胃・大腸・膀胱・三焦)

奇恒の腑・・・形は腑、機能は臓

# 臓腑の関係



臓/腑・・・陰陽の関係  
→・・・五行の関係  
**赤**・・・臓に管理されている

→相手を生かす(相生)  
→相手を抑制する(相克)

# 臓の主な働き

臓	五行	働き
肝	木	<ul style="list-style-type: none"><li>・血を蔵する、血量の調整(蔵血作用)</li><li>・氣を伸びやかに巡らせる(疏泄作用)</li></ul>
心	火	<ul style="list-style-type: none"><li>・血を全身に循環</li><li>・精神をコントロール</li></ul>
脾	土	<ul style="list-style-type: none"><li>・消化、消化したものを運搬(運化作用)</li><li>・血が外に漏れないように(統血作用)、内臓が下がらないように(昇清作用)</li></ul>
肺	金	<ul style="list-style-type: none"><li>・呼吸</li><li>・氣、津液をカラダの上、外方に(宣発作用)、上から下ろす(肅降作用)</li></ul>
腎	水	<ul style="list-style-type: none"><li>・精を蔵する(蔵精作用)</li><li>・水分の排泄(主水作用)</li><li>・呼吸で得た氣を肺から腎へ下ろす(納氣作用)</li></ul>

# 腑の主な働き

臓	五行	働き
胆	木	・胆汁の分泌
小腸	火	・胃で消化された栄養分を受け取り、消化
胃	土	・食べ物を受け入れる(受納作用) ・粥状に変える(腐熟) ・食糜を小腸に送る
大腸	金	・小腸から送られてきたカスを運び、便とする
腎	水	・尿を貯めて排泄

# 奇恒（きこう）の腑の主な働き

	特徴	関連する臓
脳	頭蓋の中にあり、随の大きいもの、下には脊髄がある 身体の運動を円滑に、目・耳を聡明に	腎・肝・心・脾
髓	骨の中にあり、骨格を滋養する	腎
骨	硬く、中に随、周りに、脈・筋・肉がつく 連結して骨格をつくる	腎
脈	営気と血を中に通す 脈拍の異常は心の異常	心
胆	胆汁の貯蔵と排泄 (決断力)肝が巡らせた胆が決断を下す	肝
女子胞 (じょしほう)	女性生殖器の働きを持つ(子宮)	肝・(心・脾)